

(様式第1号)

第11期 第6回 芦屋市環境づくり推進会議 会議録

日 時	令和2年8月24日(月) 14:00~16:00
場 所	芦屋市役所北館3階ミーティングルーム2
出席者	会 長 長井 彦一郎 副会長 池内 清 委 員 上田 順子 委 員 浦川 朋子 委 員 大脇 巧己 委 員 新島 進 委 員 半田 孝 委 員 船山 静夏 委 員 松原 洋子 委 員 森田 昭弘 委 員 井岡 祥一 欠席委員 田中 理生 事務局 米村 昌純 事務局 岡本 祐子 事務局 中田 博己
事務局	環境課
会議の公開	■ 公開
傍聴者数	0 名

1 会議次第

(1) 開会

(2) 議事

ア 子ども環境作文コンクール、ポスター展の展示について

イ 環境フェスタについて

ウ 第11期の取組内容について

(3) その他

次回(第7回)日程 月 日( ) 時 分 ~ 時 分

(4) 閉会

2 提出資料

会議次第

【別紙1】第11期環境づくり推進会議の活動について

【別紙2】ホームページレイアウト(案)

【別紙3】ホームページ作成プロセス(案)

### 3 会議経過

事務局 本日は、お忙しい中ご出席いただきありがとうございます。定刻となりましたので、ただいまから第6回芦屋市環境づくり推進会議を開催させていただきます。それでは長井会長、会議の進行をお願いします。

会長 はい、それではまず、議事に入ります前に、事務局から委員の出席状況の報告をお願いします。

事務局 委員12名中、本日11名がご出席でございます。半数以上の出席をいただいておりますので、本会議は成立しております。

会長 ありがとうございます。本日傍聴の方はいらっしゃいますか？

事務局 傍聴の方はいらっしゃいません。

会長 それでは、議事に入ります。次第に沿って、事務局から報告願います。

事務局 はい。では、11期の活動につきまして、前回お話ししました事項の報告も踏まえて説明いたします。別紙1をご覧ください。

1つ目に、子ども環境作文コンクールとポスター展の作品の展示についてです。例年であれば、2月の環境フェスタの表彰式にて、作文とポスターの入賞者に表彰状と景品をお渡しし、多目的ホールで作品を展示しておりました。次回の表彰式が感染症の影響で実施できなかった場合、作文は作品を展示する機会がなくなるため、11月下旬から北館1階で行うポスターの展示に合わせて作文も展示するというので前回お話をしていました。作文を展示するスペースについて確認したところ、12月1日から12月14日は北館1階の行政情報コーナー前の通路が空いているとのことでしたので、作文はそちらに展示します。なお、作文は本日時点で9件応募があります。9月末が締め切りなので、10月に委員の皆さまに作文を採点いただきます。

2つ目のポスター展については、例年通り、10月に環境処理センターにて審査を行い、11月下旬より北館1階の展示スペースにて展示を行います。

3つ目が環境フェスタについてです。感染症対策のため、市民センターの各会議室を使用する際は、人数が定員の2分の1以下になるよう求められております。前回の推進会議で主に決まったこととして、(1)多目的ホールの外の柵の部分で受付し、名簿に住所・氏名・連絡先を記載してもらう(2)多目的ホールの人数は、番号を記載した名札にて管理する(3)301室の表彰式の座席は前後左右の間隔を空けて配置し、受賞者27人に対して保護者席27人となる(4)表彰式のあと、消毒・喚起の後に、半田先生に化石についての講演を2回していただき、化石の展示を301室で実施する。

以上のことが決まっておりました。前回の報告事項については、以上です。

会 長 ありがとうございます。前回の決定事項について、何かご意見のある方はおられますか？

大脇委員 ポスター展示が11月20日から開始となっています。作文の展示が12月1日からとなっているのは、その前に何か別の展示で使っているからでしょうか。

事務局 そうです。作文とポスターの展示で重なるのは、12月1日から7日までの1週間になります。作文の展示を1週間で終わりとするのではなく、2週間展示するため12月14日までとしています。

大脇委員 分かりました。また環境フェスタの受付を、多目的ホールの手前の柵で行うことについては、できることを確認されているということですか。

事務局 まだ、人数が決まっていないというのもあって、確認はまだです。具体的なところが決まっていないので、その方向性でお願いするということです。給食展で使えるというお話なので、できるかと思いません。

会 長 環境フェスタについては、受付で名簿に記入してもらうことになっていますが、それについてはいかがでしょうか。

副会長 このような受付方法は、最近ではどこでもしていることなので、協力してくれると思います。コロナに関して何かあったという場合に連絡するということがわかればいいと思います。

会 長 そこまで強制するものではないですからね。名簿に記入してもらった情報はこのような用途にのみ使いますというのをどこかにわかりやすく貼っておくのもいいと思います。

副会長 例えば、博物館などであれば、1家族につき1枚用紙に記載してもらうようになっていました。

事務局 今回は、部屋に入ってもらえる人数に限りがあり、人数の把握が必要になってきます。例えば、1家族4名で来られた場合に、多目的ホールに入ってもらう場合に番号の書いた名札を4名分お渡しして、ぶら下げてもらうなど、そこは臨機応変にしていくのでいいと思います。

副会長 301室と多目的ホールのそれぞれで定員があるので、それぞれ別々で受付をしますか。

事務局 受付を1つにすることで、多目的ホールの人数と301室に人数を調整できるというメリットがあります。ただ、301室と多目的ホールの人数をそれぞれ把握するために、それぞれで受付があった方がいいのであれば、それも考えた方がいいですね。

会 長 名札は出るたびに毎回返却してもらうのですか。

事務局 そうですね。人数を把握するのに、毎回返却してもらいます。では、それぞれの部屋で名簿をつくりましょうか。

大脇委員 名簿をそれぞれで作るよりも、受付は1か所で、番号札は2か所それぞれの入口で配ることで、何人入っているかわかるし楽だと思います。

事務局 でしたら、名簿を書いてもらう受付は1か所でしょうか。

森田委員 受付をするのは1か所にしないと、合計の人数が把握できないので、1か所ですね。

事務局 別々の部屋に入っていただくので、301室と多目的ホールで色分けした番号札をお渡しするようにして人数を把握するような形にしましょうか。

森田委員 部屋に入る時に渡すようにするのがいいと思います。

副会長 部屋の入口で整理券を渡すような形ですね。

大脇委員 大阪府と同様に、兵庫県の方でQRコードを読み取って何かあったときに連絡するというのをしていますが、それもやりますか。

森田委員 QRコードについては、不特定多数の人が来られた時のものです。今回は名簿によって来ていた人の連絡先等が完全に把握できるのであれば、なくてもいいと思います。

大脇委員 では、今回は名簿に書いてもらうという方法ですね。

会 長 受賞者1名に対して、保護者席が1名となっています。兄弟や親戚など多くの人数で来られた場合は大変だと思いますが、これについてはいかがでしょうか。

副会長 前もって人数制限がある旨をお知らせしておけばいいと思います。兄弟で来ていても、実際に部屋に入れるのは1人ですというのも明記しておけばいいと思います。

事務局 毎年、招待する手紙は受賞者の方にお送りするので、その文言を追記する予定です。

会 長 301室に入りきらない場合は、廊下で待ってもらう可能性はあるということですね。多くで来ていただいても、部屋の外で待っていただくことになるという説明もしておかなければいけないですね。

副 会 長 表彰式の時に部屋の外で待ってもらおうというのは、あまり来た意味がないですね。前もって言うておいて、その間は多目的ホールに行ってもらおうなどした方がいいかもしれないですね。

事 務 局 多目的ホールを開ける時間は、表彰式とは少しずれていますね。13時開始の表彰式の際は、多目的ホールは開始準備になっているので、両親や兄弟などで多く来られた場合、301室に入る1名以外の方は、優先的に多目的ホールに入ってください、一般の方は多目的ホールは1時30分からとするのもいいと思います。

副 会 長 多目的ホールの定員にはスタッフの人数も含みますよね。3団体だと、1団体4名とするとそれで12名になります。例えば2名ずつ交代で入ってもらおうようにした方がいいかもしれないですね。化石の展示が、301室に移るので、ある程度はばらけると思います。

事 務 局 半田先生には化石のお話を2回していただくので、そちらにご案内することもできます。

会 長 環境フェスタについて、他にご意見があればお願いいたします。

副 会 長 化石の展示は302室の方に置いておくということですか。

事 務 局 今のところは、301室の壁のスペースに机を並べてその上に化石を置く予定です。

副 会 長 化石のお話はどのようにする予定ですか。

半田委員 今回は化石の見方について、どこを見ればいいのか同じ説明を2回する予定です。どこかの高校でボランティアをしてくれる子がいたら、化石の側にいってもらって、説明してもらうことも考えています。今回は触ってもらうのが難しいかもしれないので、その代わりに大きな虫めがねを用意して、見てもらうようにしようと思います。虫めがねは固定して置いておいて、触れずに顔を近づけて見てもらうようにします。

会 長 本来は化石に触ってもらいたいのですが、今回は触るのは難しそうですね。

事 務 局 化石の近くに消毒用アルコールを置きますが、今回はできるだけ触れないようにしてもら方がいいですね。

半田委員 その時の感染状況で、また収まっていればその時に考えるのがいいと思います。

会 長 環境フェスタは2月なので、まだ推進会議で話し合う機会はありますよね。

事務局 10月にポスター展をした後で、11月～1月の推進会議で話し合うことができます。

副会長 そのあたりは感染の状況を見ながら直前に決めるのがいいと思います。

会長 ありがとうございます。では、次の議題にうつります。事務局お願いします。

事務局 次に、第11期の取り組み内容についてです。

前回の推進会議で、第11期の新たな取り組みとして、市内で活動されている、環境団体さんの活動を、1年をとおして市民に伝えることが出来るような取組みを検討しました。案としては、各環境団体の活動の内容で、季節や場所ごとに植物や風景、自然素材を使った遊び方などの写真や動画などの資料を集めて、ある程度まとまったら、紹介するサイトをつくり、写真や動画をアップするといったことでした。また、紹介するサイトとしては、FacebookなどのSNSを活用するといった案がありました。

そこでSNSの活用について、市としてどこまで可能なのかを確認することが、前回の会議で事務局に出された宿題でした。

お調べした結果、Facebookは環境課(団体)としてのアカウントの取得が無理で、個人が開設する形となるため、環境課が「環境づくり推進会議」として作成するのは難しいようです。もちろん個人の方が「環境づくり推進会議」を開設する場合は可能です。また、ツイッターは個人でなくても開設できますが、発言の制限を設けるのが難しく、不適切な投稿などの削除等の管理が大変になるので、事務局の今の体制では厳しいと考えています。

そこで現状で管理している市のホームページで、今期の取組みで出来るような案を考えましたので、別紙2をご覧ください。

これはあくまでも(案)なのですが、情報収集で得られた写真や団体さんの情報、動画、イベント情報、関連リンクなどが掲載できるので、とりあえず初めはこのようなホームページからはじめてもいいのではないかと思います。

次に別紙3をご覧ください。

ホームページ作成の具体的な流れについて案を示しています。委員さんの中で季節ごとに4グループに分かれて、情報収集と材料の選別を行うことを想定しております。流れとしましては、

- ①事務局と各委員さんで、市内の環境団体さんから情報の収集を行う、
- ②事務局より集まった情報を、担当グループの委員の方にメールで送付する、
- ③情報が多い場合は主・副の委員さんで選別を行う。
- ④その選別された情報に対して、サポート委員さんで、コメントを作成する、
- ⑤その結果について、推進会議の場で報告をする、
- ⑥推進会議で承認された内容を基に、事務局にてホームページを作成する、

以上のような流れを案として示しております。本日は、それぞれ皆さんにご意見いただきたいと思っております。以上です。

会 長 ありがとうございます。団体さんの情報をそのまま載せるのは難しいですか。

事務局 まずSNSの方が自由にできるというのを聞きまして、お調べしたのですが、セキュリティが難しく、facebookに芦屋市環境課として団体で登録するのはできなくて、個人でないと登録できないとのことでした。例えば、委員さんのどなたかで登録することは可能なのですが、委員さんは任期があり、職員も異動があって、また新しい人で作り直さないといけないとなってしまうので、継続して作っていくツールとしては、難しいと思います。また、twitterであれば団体で登録できるが、制限ができなくて、宣伝等に対する削除や管理が大変です。

したがって、まず初めは事務局が管理できるホームページを作るのがいいかと考えて、作成したのが別紙2のホームページレイアウト案です。推進会議のホームページはすでにあるのですが、あえてそこにぶら下げるのではなく、芦屋で見ることができるおすすめ自然というサイトを作って、推進会議のメンバーで自然を紹介しますとした方がいいかと考えました。季節ごとの写真として、例えば、夏であれば奥池南でサギソウが見ることができるといったふうに、撮影した写真を載せて、さらに撮影日、撮影者名を載せると、イメージしやすくなり具体性もでると思います。あとは、ご希望の団体さんをホームページに載せることを考えているのですが、まずホームページに載せていいかのアンケートを取らないといけません。事務局から団体さんあてに、こういうホームページを作ろうと思っているのですが載せてもいいですかというアンケートを取って、載せたい団体がいたら載せる。団体さんからいただいた情報を推進会議で、この内容を載せてもいいかというのを話し合っ、載せてもいいという判断をしていただいてホームページを作る。例えば、大脇さんがおっしゃっていたように自然遊び等の動画もあった方がいいので、確認したところ、動画自体は載せることができないのですがyoutubeならホームページにリンクを貼ることができるということでした。例えば、さんぴいすさんが芦屋川でこういったことをしましたというのをリンクで貼ってみる、そこにアクセスしてもらって、そういったことならできます。また、今度こういう自然観察イベントをしますというのをこのサイトには載せることができるので、レイアウト案には、芦屋川の自然観察会やロックガーデンでの自然探索会を例として載せています。また関連リンクとして、ホームページを今お持ちなのがアシレンジャーとこどもエコクラブだけだったので、例として載せています。これで、始めてみるというのはどうかというのが事務局としての1つの案です。11期の委員の皆さんで作っていただきたいので、4グループに分かれて、環境づくり推進会議の委員さんからのイチオシポイントとしてコメントを入れていただいて、そうすることによって11期の方の顔が見えてくると思います。その流れを別紙3に記載しておりまして、4グループに分かれて、主副の方は事務局とやり取りをする、サポート委員さんがコメントを入れるといった流れですが、最終的には推進会議にて全員で決めることとなります。一部の方だけで作るのではなく、全員で作った方が楽しいのではないかと考えて、案として挙げております。

会 長 Facebookやtwitterだと、それぞれ個人での登録ができない、書き込みの制限が難しいといったことがあるとのことなので、まずはホームページを作ってみて、後々変えていくというのでもいいと思います。

副会長 情報発信できる場があればいいので、まずはホームページから始めてみるのでいいと思います。ただせっかくホームページを作っても活用されなければ意味がないので、どれだけアクセスしてもらえるかが問題だと思います。それは今後どんなふうに広げていくかによると思います。Twitterのようにどんどん書き込みをしていく機能は必要ないと思いますが、お問合せコーナーを設けて、いつ頃行ったらいいか、この草は何という名前ですか、といった質問を受付できるようにして、それぞれに返答する、又は回答スペースを設けて、まとめて公開するのもいいと思います。まずはどれだけ情報が集まるかですが、それはやってみないと分からないですね。

事務局 とりあえず始めることが大事だと思います。環境団体さんもこういった情報を上げたらいいというのも、やっていくうちに分かってくるとは思いますし、そうすることで広がっていくと思います。

副会長 各団体さんもどんな情報を出したらいいかというのも、初めは要領がわからないので難しいと思うのですが、こちらからこれはどうですかといった案を出してあげたり、各団体の観察会等のイベントの情報を流してアピールしてもらいたいと思います。それによって、各団体の情報を発信する場になるとは思います。

事務局 ここを見れば、市内の環境団体さんの活動がいつ行われるかわかるというのであれば、市民の方も便利なので使っていただけたらと思います。

会長 このホームページのレイアウトを見ると、トップページのホームから、くらし、環境、環境啓発・環境保全のとりにくみ、芦屋でみることができるとおすすめの自然、となっていてたどり着くまでに階層があります。このページにて環境団体のアピールができるようになっていますが、もう少し入ってきてもらいやすくなればいいのですが、どうでしょうか。

副会長 これでいいと思いますが、このサイトを開設したときに、初めにトップページにこういったものを開設したというのを流してもらえれば、見てもらえると思います。一度見てもらえたら、次回からも見やすいやすくなると思います。

事務局 ホームページを更新するたびに、更新されましたというのを表示できるので、そうしようと思います。

会長 先ほど春夏秋冬で委員さんが各グループに分かれるといった案がありましたが、パソコンでというより、紙にレイアウトを書いてといった流れでしょうか。

事務局 最初はこういった情報が団体さんから集まってくるかわからないので、まずは団体さんに依頼します。それだけでは、初めは多分あまり集まってこないでしょうから、最初は池内さんや大脇さんのお力をお借りしながらやっていきたいです。また、半田先生からも芦屋の鳥の情報をもらいながら、芦屋の自然に関する情報がある程度集まったら、各グループの委員の方にまとまった状態でメール



でお送りして、どれがいいかを選別していただいて、コメントを考えていただく、といった流れを考えています。

半田委員 お試し期間を設けてやってみてもいいと思います。私は2日に1回のペースで岩園や仲ノ池に行って自然を見ているのですが、その中で面白そうな事象についてお送りしますので、その中で表には出さずに、お試し期間にいろいろとやってみたらいいかと思います。

事務局 そうですね。まずは私たちがどうやって始めるかというのをやっていかないと、なかなか一気に進まないの、一步一步やっていくのがいいのかなと思います。

会長 スタートしていきなり軌道に乗るのは難しいので、試行錯誤しながらしていけばいいと思います。まずは2年間やって、我々の次の推進会議の委員さんも引き継いでいけるようにできればいいと思います。とりあえずできるところからやっていって、積み重ねて、形にしていけばいいのかなと思います。

上田委員 芦屋市ってInstagramってなかったですか。

事務局 Instagram は広報国際交流課が持っているものがあります。

上田委員 Instagram のように初めは画像からの方が取り組みやすいと思います。もともと興味がある人でないと、いきなりホームページで調べることはしないと思います。例えば、半田先生の言われていた池の写真が随時掲載されていれば、こういうものが芦屋にあると思って、そこから興味を持つと思います。委員の人でなくても、家の近くに自然がある人がいれば、その人に投稿してもらえれば随時掲載されるので、そういった形でInstagramを活用するのがいいと思います。

事務局 難しいのが、個人の方の投稿になると、その画像が正しいのかどうかを判断する必要があります。発信する方は責任が発生します。例えば、写真が掲載されたとなると、そのグループの委員さんに、その写真がその場所で今見ることができるかを確認に行く必要があり、確認ができて初めて掲載することができます。初めからそれを行うのはなかなか難しいと思うので、知識のある環境団体さんから寄せられた情報であれば、私たちがそこまでチェックする必要がないと思いますし、それでも推進会議の皆さんで共有してから、それを掲載してもいいとなってから掲載するようにします。一般の個人の方が掲載されるものに比べて、環境づくり推進会議として掲載するものは公共性があるので、より正確な情報を掲載する必要があると考えています。

例えば、西宮市は市民から寄せられた情報については、それ専用の団体さんに確認して、正確な情報のみを掲載するようにしています。今の委員さんでそれと同じことをしようとすると、少し見ただけで判断できる方もいらっしゃるのですが、そうするとその確認をする人に負担がかかってしまいます。私たち自身がこの2年でスキルアップをして、次回の推進会議の委員さんにつなげていけたらいいと思います。

会 長 とりあえずホームページで始めてみることで、やっていく中で他にもいい方法が出てくると思うので、それでやっていくのがいいと思います。別紙3のグループ分けの表があるのですが、これについてはいかがでしょうか。

事務局 これはあくまで案なので、半田先生がおっしゃっていたようにこういった情報があるというのを皆で共有しながら、しばらくはこれがいいかなと試行してやっていくのがいいと思います。今これで決めるというのではないので、もっといいやり方があればおっしゃっていただけたらと思います。もしグループに分かれた方がやりやすいというのであれば、後日メールでご希望をいただければと思います。ただ、イメージがわかないうちに、このグループがいいとはならないかもしれないですね。

副会長 もしグループ分けするのであれば、季節よりも地域で分けた方がいいと思います。季節はつながって変化していくので、1つの季節だけだと面白くないかもしれないです。季節を通じてその地域の自然を楽しんでいくので、この範囲の中で詳しく知っているようにした方がいいと思います。無理にグループに分けなくてもいいと思いますが、もし分けるとするならば、地域で分けてこの地域を担当するといった形がいいと思います。

会 長 どこをメインにするかなどの構成を考える上で、ホワイトボードがあれば他の人に伝わりやすいと思います。

事務局 情報が集まってメールを皆さんにお送りして、皆さんで次の推進会議までにある程度考えていただいて、推進会議で壁面に白い紙を貼ってその上に順番にこうした方がいいという意見を貼っていくのもいいと思います。

会 長 そうした方がわかりやすいですね。

副会長 それもまたどんな情報が集まってくるかわからないので、まず情報が集まってからですね。

会 長 まずは情報収集からですね。どこから始めればいいのか少し難しいですね。

大脇委員 このメンバーで情報収集するとしんどいので、環境団体さんから情報がもらえる仕組みを作った方がいいですね。今も作っていただいているのですが、まずダミーとなるページを作って、そのページに情報発信のカテゴリがあるので、これに対して各団体さんで出せる情報はありますか、協力してもらえますかと聞いてもらって、ありそうなところはそれでいいですし、逆にないところがあればまた皆で考えるといった流れで、まず団体がイメージしやすいようにページを渡して、情報が出せるか様子を見るのがいいと思います。

事務局 各団体さんには、第11期の推進会議でこういうホームページを作るので、まずホームページへの掲載を希望されますかというのと、こういった情報なら載せたいという聞き取りのアンケートならこちらの方でさせてもらったらいいのかなと思っています。

大脇委員 今話を聞いていて、この情報発信のカテゴリに加えて、先ほどおっしゃっていた質問コーナーをカテゴリとして1つ追加した方がいいのかなと思います。もう一つ、参加してくれた団体さんにはリンクできるよう団体の紹介のページとかカテゴリを作って、さらに参加してくれた団体がいつ活動を行うかカレンダーのようなものも作っておいて、それを見たら何月にはどこでどの団体イベントがあるということがすぐわかるというようにすることで、団体にもメリットがある。それからあともう一つ、子どもたち向けのクイズコーナーを入れておくと、各団体からそれぞれちょっとした面白いクイズを入れたらいいと思います。そういったものもプラスで入れていってもらったらいいかなと思います。

半田委員 子どもからの質問コーナーがあったら喜んで質問してくれると思います。

事務局 ただホームページなので、見ることはできるのですが、書き込みはできないので、メールで質問を受けて返信することになるので、そのメールの返信が例えばすぐには返すことはできないので、次の推進会議までに集めて推進会議でお渡しするか、もしくは質問がくるたびに皆さんにお送りするかどちらかですね。

副会長 できるだけ返信は早い方がいいですね。

事務局 では、質問がきたら皆さんにお送りして、次の推進会議までに集めるといった形ですかね。

副会長 場合によっては、即答でもいいと思います。

会長 メールで質問が来て、メールで回答するのでしょうか。

半田委員 ホームページで答えを発表することで、いろんな市民の方がそれを見てなるほどと思うでしょう。

副会長 それの方が面白いと思います。その人だけに回答するのではなく、こういった質問がありましたと回答をどんどん公開していく、公開できないものについてはできないですが、公開してこんな面白い質問があるというのがわかれば、見る人が楽しめると思います。

事務局 ホームページの様式でそういう形での掲載が可能なかわからないですが、煩雑になるのも良くないので、PDFでまとめて貼り付けとなるかもしれないですね。またホームページにも容量の制限があります。やれたらいいことは多くあるのですが、やれることを少しずつやっていこうと思います。今は何でも意見を出してもらえればと思います。

事務局 ホームページをご覧になった方のご質問も、直接、環境団体さんにお聞きできるような仕組みが一番いいと思うのですが、残念ながら、環境団体さんの中にホームページを持っておられる団体さんが少なく、今ホームページを持っているのが、さんぴいすさんとこどもエコクラブさんの2団体でした。

半田委員 葉っぱリサイクルクラブさんは、仲ノ池でたまに見かけるのですが、こちらからお声かけをして、一緒に写真を撮ったりすることも可能です。

副会長 あしやエコクラブも同じ人がされてましたか。

事務局 同じ人がされています。こどもエコクラブは、全国のこどもエコクラブの団体としてホームページがありますが、そういったものがあることを知らない人も多く、個人の方が開設されたものでもないのに、関連するリンクは貼ってもいいのかなと思います。

環境団体さんからの情報が集まって、これはどこの団体さんからの情報で、連絡先まで載せて、質問はその団体さんをお願いしますとすると、リアルタイムで質問への回答ができると思います。それも団体さんによっては、連絡先まで載せていい場合とそうでない場合があると思います。

会長 それでは、次の推進会議までに我々がすることは何かありますか。

半田委員 特にはないですね。何かいいアイデアがあればもちろんいいですが。

会長 次の推進会議では、団体さんからこんな情報があると事務局から言っていただいて、それをもとにして形になるよう進めていくような流れですね。

副会長 環境団体さんが、推進会議とどの程度関わりを持とうと思っておられるのかですね。ご協力はされると思うのですが。例えば、この団体の担当はこの委員さんといったようにして、その団体さんと深くつながりを持つようにしてもいいかもしれないですね。または、事務局を通して、団体さんとやり取りをするのも1つだと思います。

もしくは、団体さんが情報発信できる場をこちらから提供するという程度にしておくのもいいと思います。市内の方でも団体さんの名前を知らなかったりするので、各団体がこういう取り組みをしているというのがアピールできれば、それぞれの団体を活性化する1つの手段にもなると思います。ただ、団体さんもどんなことをしたらいいのかわからないと思うので、こちらからメールで連絡する、あるいは直接行って話をすることで、情報交換できれば有益ですし、親しく交流を持つことができればいいと思います。逆に推進会議がこのように動いているとアピールになると思います。

半田委員 委員の方の負担が増えるのは避けた方がいいですね。機械的に割り振るよりも、例えば、こどもエコクラブとは仲がいいので、私が情報もらいますといった形でした方がいいかもしれないです。

事務局 まず、環境団体さんにアンケートをお送りしてみますね。

会長 リードあしやに登録しているところだけですよね。

事務局 リードあしやに登録のある団体に声をかけてみようと思っています。

会長 リードあしやに登録していないところで、環境に関する活動をされているところってありますか。

事務局 登録されていないとなると、個人の方になってくると思いますが、今後はどうなるかはわからないですが、個人の方よりも、まずは団体さんに声かけする方が無難かなと思います。

会長 もしこういった取り組みに参加したければ登録してもらった方がいいですね。

事務局 そうですね。環境フェスタなどでもつながることができると思います。

会長 次回の推進会議では、団体さんからの意見も聞けそうですか。

事務局 次回の推進会議では、団体さんのアンケートの結果が返ってきていると思うので、皆さんにご報告できると思います。前回の推進会議で、こういったことをしようという頭出しをして、今回の推進会議ではある程度具体的にイメージを皆さんで共有できたと思うので、次回はもう少し広げて、より具体的にしていけたらいいかなと思います。

会長 ありがとうございます。何か全体をとおして質問等あればお願いします。ないようでしたら、事務局よりお願いします。

事務局 次回の推進会議は9月を飛ばして、10月に環境処理センターにてポスター展の審査を行いたいと思いますがいかがでしょうか。

会長 よろしいでしょうか。質問等あればお願いします。

事務局 では、後日、メール等でご連絡いたしますので、ご確認よろしくをお願いします。

会長 当初予定していた議事は全て終わりましたが、他に何かございますか。ないようでしたらこれで、第6回環境づくり推進会議を終了します。ありがとうございました。